

第5回 意見交換会 要旨

開催日時	11月 20日 (火) PM19時10～		
市町村名	穂高町	グループ名	5
メンバー	(◎：司会、○：記録者)		

- ・最初の資料を見ると「交通量がふえるから作る」というのが理由である。最近の朝日新聞を見ると、「交通量が減る」とある。県の算定を見なおすことが必要ではないか。
- ・平成9年の人口減の予測は入れて、算出しているのか→入れている。
- ・平成32年供用の交通量が3倍になるが36000台が糸魚川連絡だけで増えるというのは数字が大きすぎるのではないか。
- ・2グループは「高瀬川左岸を通る案でやれ」と決議したそうである。
- ・高瀬川左岸道路は活断層の上を通っているので問題である。
- ・A・B・Cを資料があるが、始めてからAルートを考えていたのではないか
- ・塩の道路懇談会では最初豊科インターから糸魚川のコースであったはずなのであるが、なぜ波田、糸魚川コースになったのかわからない
- ・土木工事を大規模にするために、（金をかけるために）波田になったのではないか。
- ・「どうしても」と言うならオリンピック道路の拡張の方が安上がりであろう
- ・高規格道路ができれば増々穂高町の旧町内はさびれると思う。
- ・国策として新しい国道を作れば、今までの国道は格下げになり、地方公共団体の新たな負担になる。
- ・金のかからない、効果的な「公開質問状を出す」ことが大切である。
- ・皆さんが言っていることは皆同じであろう。あとは方法論の違いだけである。
- ・A氏案の「反対する会」を「第5グループ」にかえて、皆の意見として全体会にだしてはどうか。
- ・C案でまとめるのではなく、「美しい景色を残そう」「借金を子孫に残すのはやめよう」という理想でまとめたい。
- ・大北地区でも反対意見があった。「新しい国道ができれば今までの道路が格下げになり町村負担がふえる。」という意見があったが、「かくせ」と圧力があったようである。
- ・「内容を知らない町民にどう知らせるか」について考えていかななくてはならないのでは。
- ・12月7日(金)の全体会に向けて
 - ・運動として、署名、意見周広、公開質問状、住民投票、などが出た。
 - ・資料として、A氏案を、公開質問状の一部を変えて提出する。